

【開催報告】山陰海岸ジオパークみんなでおしゃべり3 ~つくりよう！持続可能なツーリズム~

山陰海岸ジオパークの研究者や大学生の研究活動を地域の方々に知っていただくとともに、地域資源を活用した「持続可能なツーリズム」について参加者とともに考えることと目的として、3回目となる「山陰海岸ジオパークみんなでおしゃべり」を開催しました。

初めてのオンライン開催で、みんなが集まらない状況でいかに充実した「おしゃべり」の場をつくるか、関係者一同何度も協議してこのような形になりました。

当日ご参加いただいたみなさま、活発な議論と円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました！

鳥取県立山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館 館長 近藤一彦



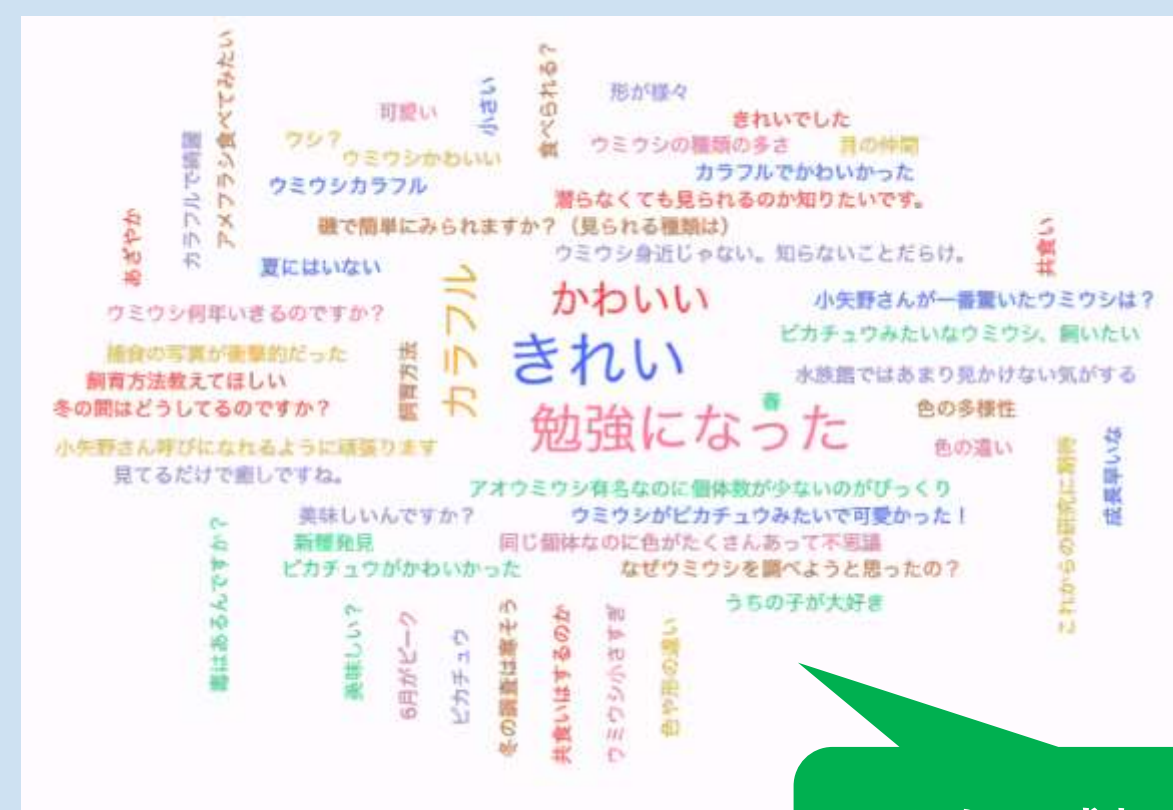
オンラインでのより充実した「おしゃべり」のために

- ▶ 発表毎にブレイクアウトルームに移動し、少人数で意見交換
- ▶ みんなの感想をワードクラウドで可視化 (リアルタイム投票サービスMentimeter、オンラインホワイトボードMiro)
- ▶ ワークシートを使って個人ワークとグループワーク (Google スライド)

Session 1 山陰海岸ジオパークの研究最前線

浦富海岸におけるウミウシ類の種組成の季節変動

小矢野 (太田) 悠造
山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館

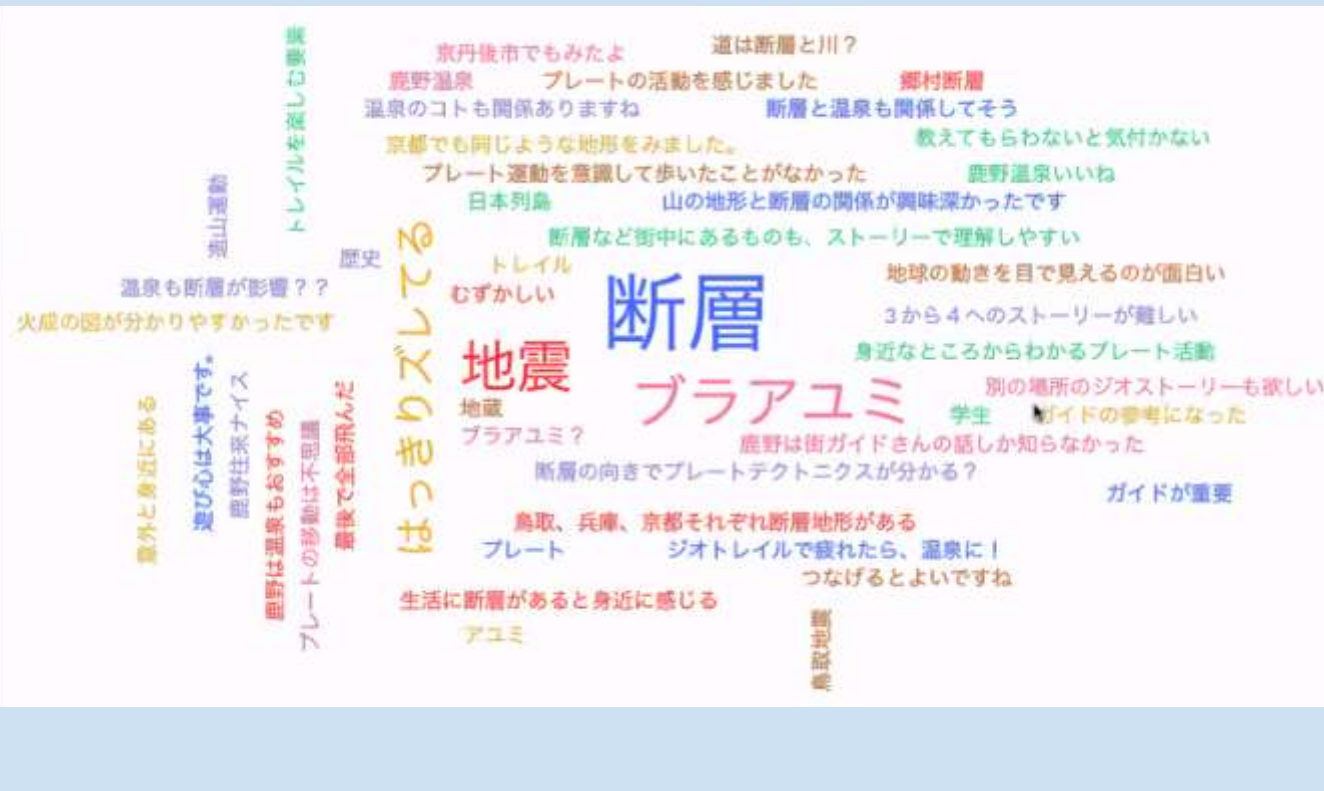


みんなの感想
ワードクラウドで共有

鹿野往來のジオストーリー ~君はプレート運動を感じれるか??~



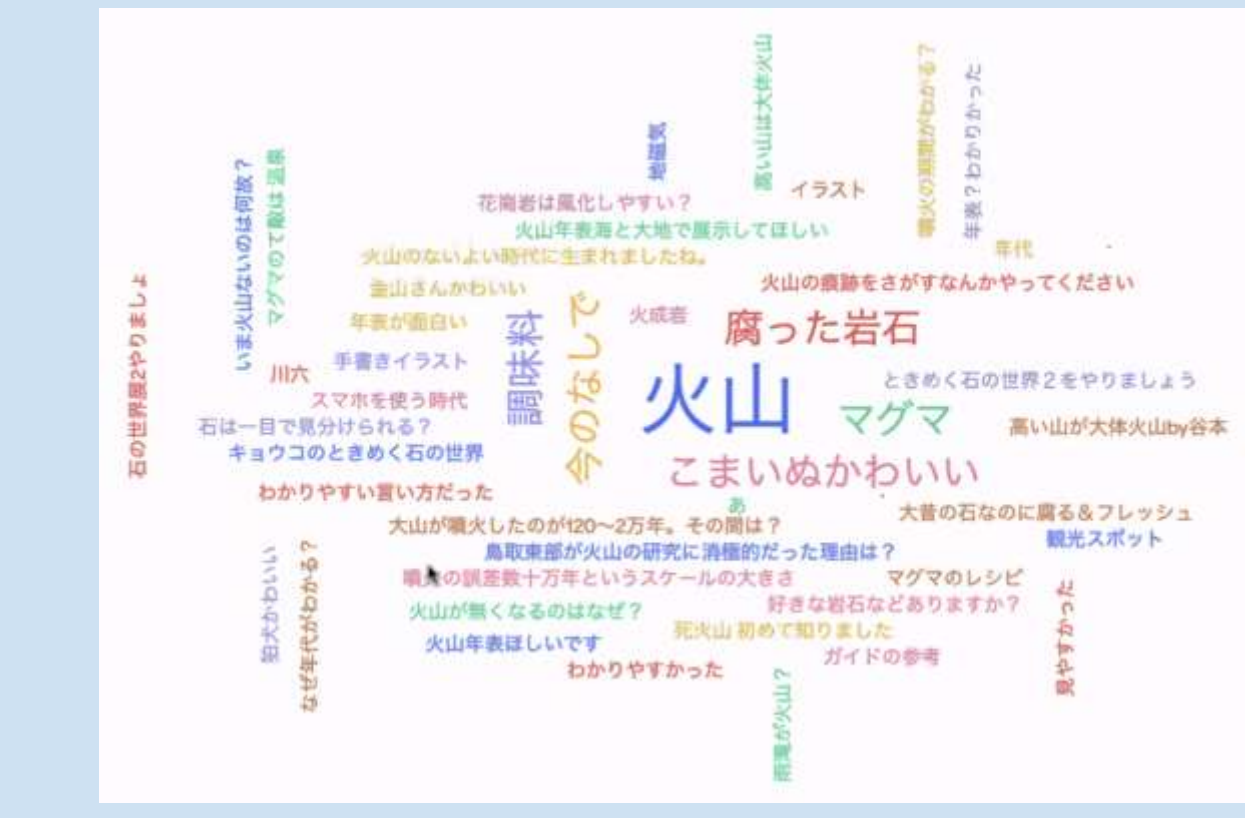
菅森 義晃
鳥取大学農学部
このイベントの企画者代表



山陰海岸の知られざる火山たち



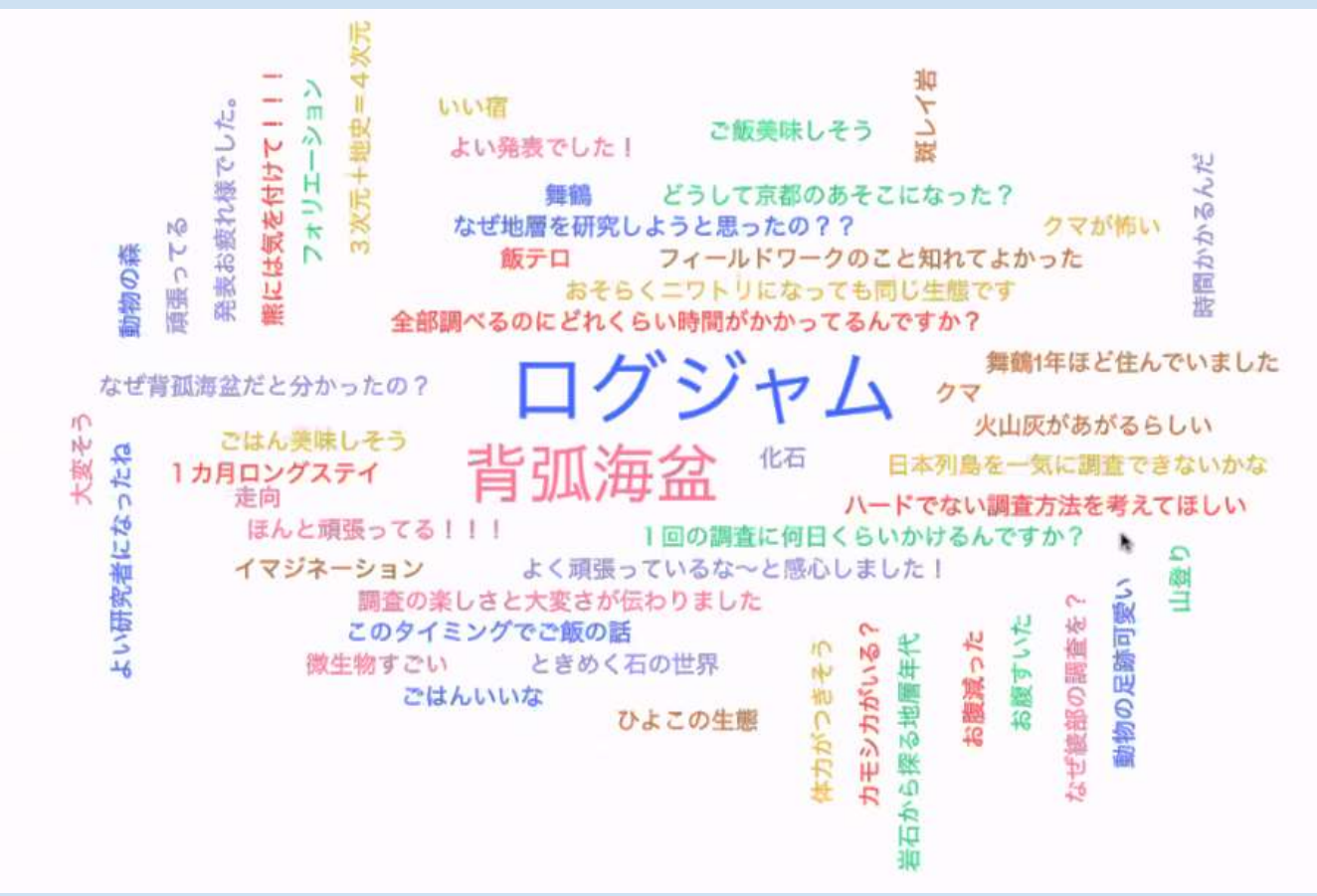
金山 恭子
山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館
このイベントの企画者副代表



Session 2 鳥取大学学生さんの研究ライフ

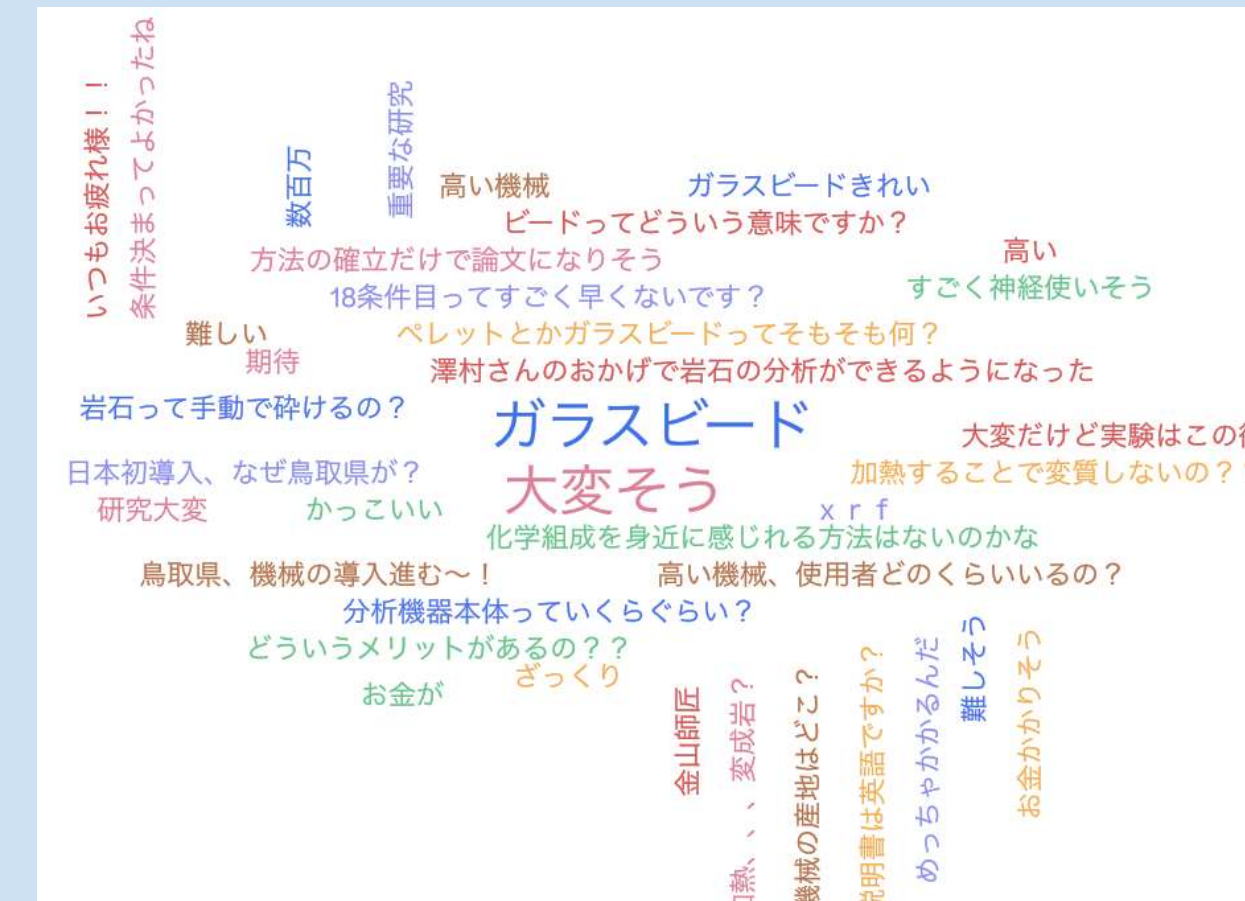
野外実習調査風景 -山の中での地質学者の生態-

鳥取大学農学部 4年生 Aさん



岩石の化学組成を知るために ~ガラスビードの作り方~

鳥取大学農学部 4年生 Bさん



事後アンケートより

- 毎年楽しみ。
- 快適にオンライン会議を行うことができました。
- この会に参加しなければ関わらないような人と話すことができたのは、すごく貴重な経験になった。将来、仕事をする時に役に立つ経験になっていけばいいと思う。
- 今後自分の仕事をどのように進めるべきか見つめ直す良い機会となった。
- 学生発表のフィールドワークとか分析手法とか聞くのが面白かった。
- 学生さんと話をすることで、新たな視点を得れた。
- 鳥取の知らなかった一面を知ることができるのはおもしろい。
- ガイドさんのガイド内容に膨らみの出る、参考になる内容なので、もっと多くのガイドさんに参加してほしい。
- 経済(観光)と環境のバランスが思った以上に繊細だった。

- 日時 2020年12月17日 (木) 10:00~16:45
- 開催方法 オンライン (Zoom)
- 参加者 43名 (ガイド、行政関係者、大学生、研究者、他のジオパーク関係者等)
- 主催 鳥取大学、鳥取県 (共催 山陰海岸ジオパーク推進協議会)

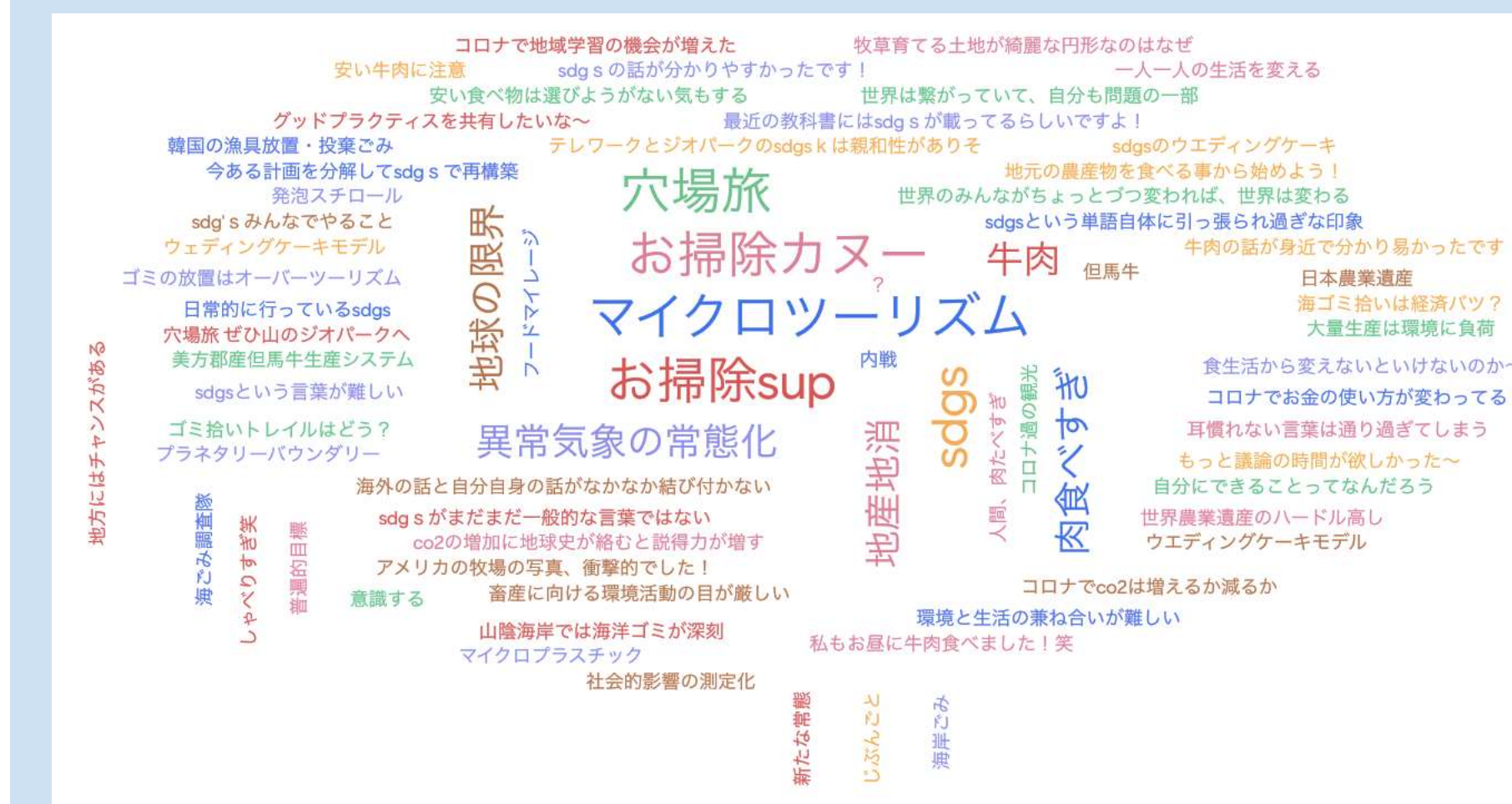
Session 3 山陰海岸ジオパークで持続可能なツーリズムを実現するには

中瀬 宏
山陰海岸ジオパーク
ゼネラルマネージャー (GM)

<プロフィール>
旅行・航空・衛星放送業界を経て、2016年に中海・宍道湖・大山園城市長会の事務局長に招かれ、広域での地方創生にかかわる。2020年4月より現職。
※強面という印象を持った方がおられますが、とても温和な方です。

山陰海岸ユネスコ世界ジオパークのめざすところ

ジオパークでみんなと考える これからのツーリズムと持続可能な未来



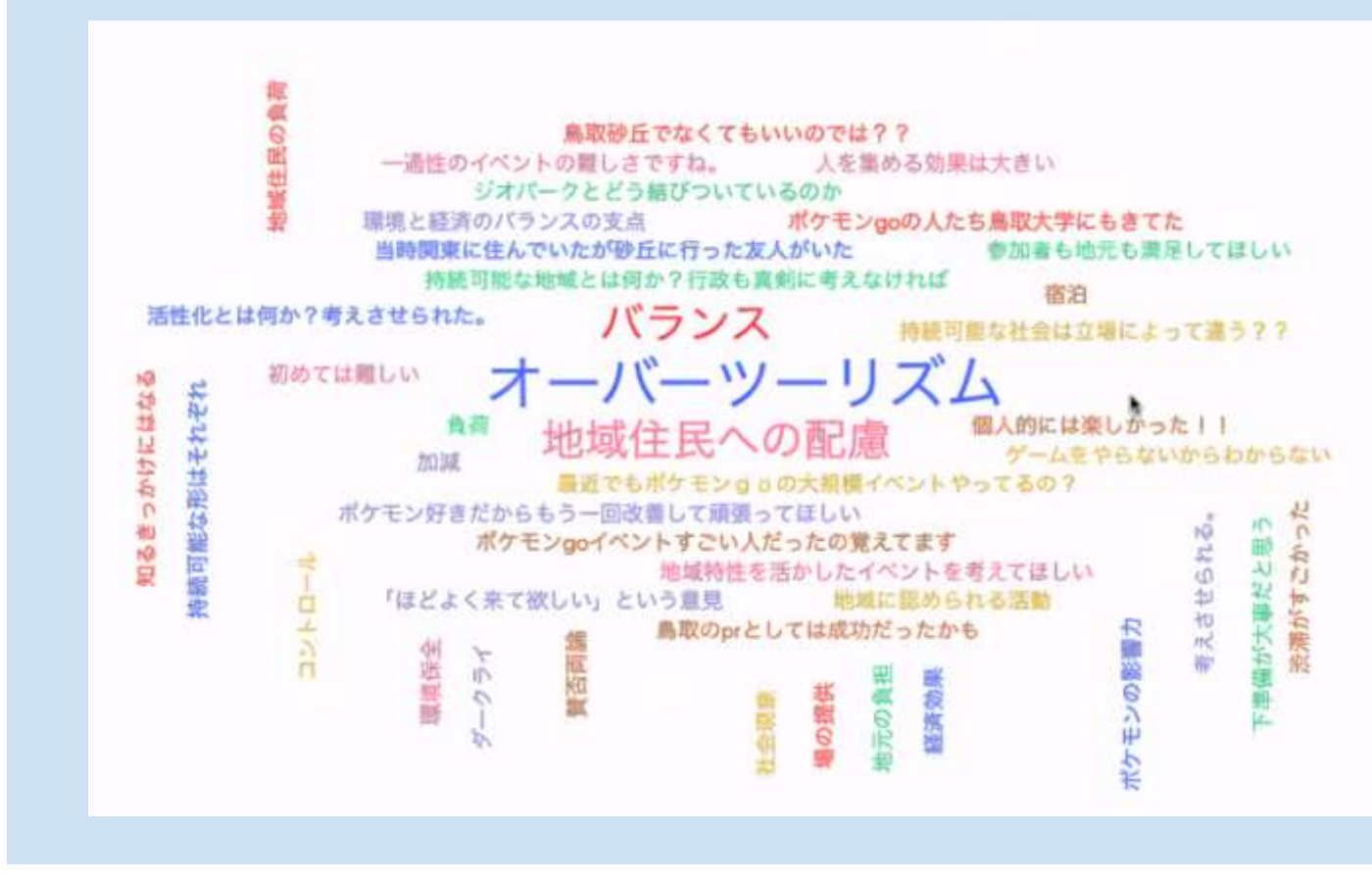
大岩根 尚
このイベントのファシリテーター
合同会社むすびパートナーCEO

<プロフィール>
地質学、海洋地質学を学び、環境学の博士号を取得。その後、国立極地研究所に勤務し南極内陸部の地質調査に参加し、鹿児島県三島村の地球科学専門員に転身。三島村を退職後、三島村硫黄島に合同会社むすびを設立。パートナーCEOとして観光ガイドや人材研修などをビジネスとして展開している。

山陰海岸ジオパーク事例紹介① 鳥取砂丘ポケモンGOから学ぶ「オーバーツーリズム」と「サステナブルツーリズム」



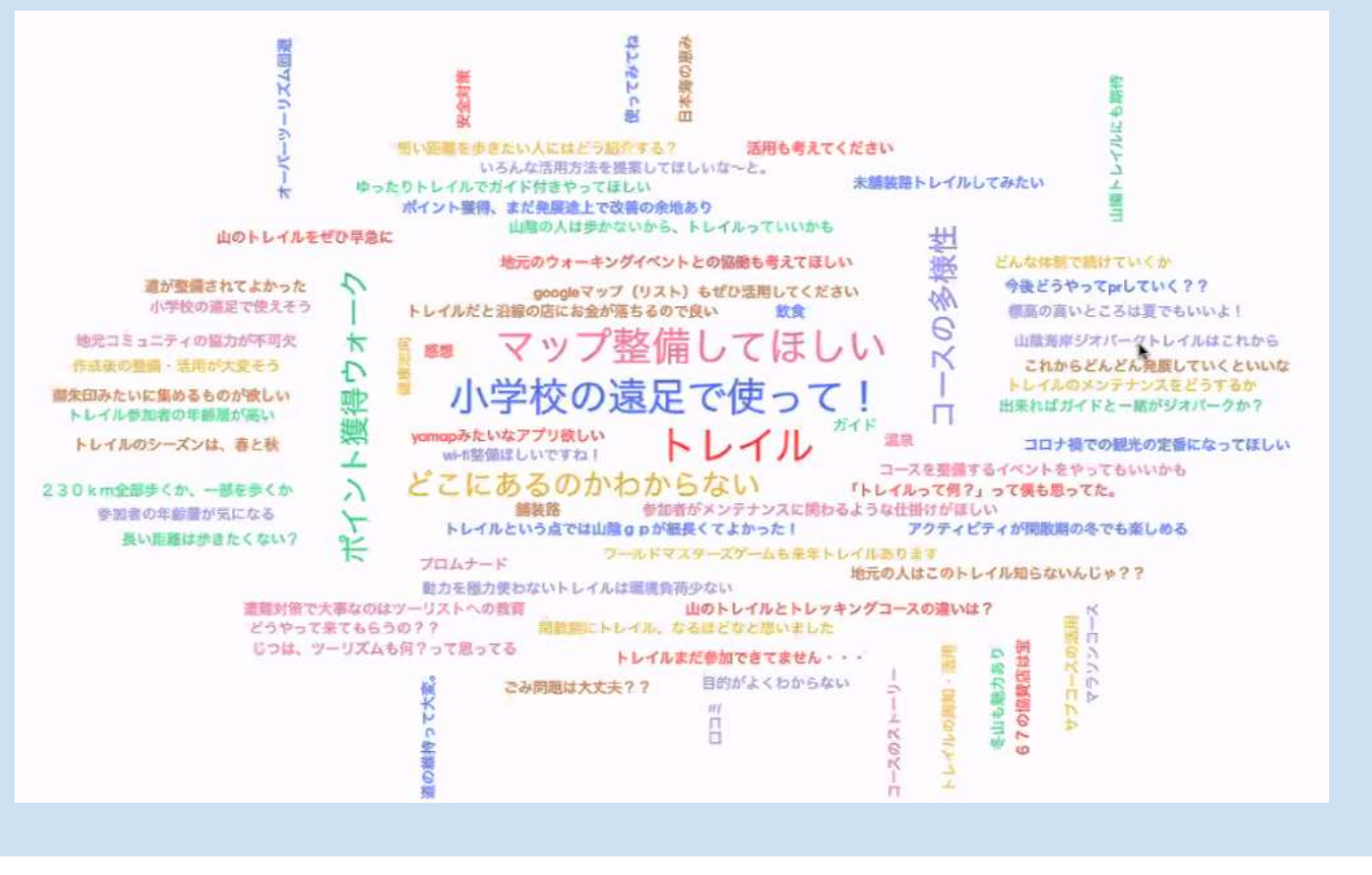
井上 昌輝
山陰海岸ジオパーク
推進協議会事務局



山陰海岸ジオパーク事例紹介② 山陰海岸ジオパークトレイル 基礎知識編



藤原 勇樹
山陰海岸ジオパーク
推進協議会事務局



個人ワーク&グループワーク : サステナブル(持続可能)なツーリズムを考える

山陰海岸ジオパークエリアの様々な取り組みを、今より持続可能にするには、既存のものをどのように変えてゆけばよいでしょうか。「経済」「社会」「環境」の面から考えました。

- <サステナブルにするためのアイデア>
- ジオパークトレイルは、地元の食材を活用した宿泊プランを用意するなど、地元にお金を落とす仕組みをつくる。
 - 「鬼滅の刃」×「お掃除トレイル」炭治郎のごとく籠を背負ってトレイルを歩きつつゴミを拾う。
 - ポケモンGOイベントは、短期間ではなく長期間やることで訪問客の分散を図る。

全体をとおして

楽しかった
Zoomとリアルをうまく組み合わせたい
山陰海岸ジオパークを通してgmを深く知ることができた
山陰海岸の魅力を改めて知ることができた
オンラインならではの会話と楽しかった
みんなでおしゃべり、使うことで話していく
gmとお話しできてよかった
もっとみんなに楽しんでもらいたい
ガイドです

テクニカルスタッフ: 佐野 恭平 (兵庫県立大学大学院)